

根堀台

第4号



由利中学校 学校便り

令和四年五月二十五日(水)

発行者 校長 今村 聡

好天の下、全員参加で運動会



→ 全員リレーのスタート
みんなの気持ちを込めて繋いだバトン！絆を深めました！

先週五月十八日(水)、爽やかな青空に恵まれ、延期となっていた由利中運動会をようやく開催することができました。欠席やモチベーションの低下を心配していましたが、幸い全員揃って、どの競技にも楽しそうに参加してくれました。平日開催となり、子ども達の頑張りを目にするのが叶わなかったご家族の皆様には、たいへん心苦しい思いですが、各学年、学級便りで様子が伝わったのではないのでしょうか。また、お子さんとのよい語らいの機会となっていれば幸いです。コロナ禍の中でも、できる限りのことに、明るく、前向きに取り組んでくれた子ども達に心から感謝したいです。

ちなみに私は、足つぼサングラスを履いて五〇m全力疾走したおかげか、すこぶる体調がよいです。

自分も周りも大切に！
奇跡の出会いに感謝！
いじめは絶対ダメ！

平成二十五年に「いじめ防止対策推進法」が施行されたことに伴い、各学校では「いじめ防止基本方針」を作成することとなっております。本校の基本方針は、四月二十六日に配付いたしましたPTA総会資料6ページに掲載されております。本来であれば、総会の場で確認するところでありましたが、残念ながら中止となりました。ご一読ください。

また、学校便り第一号には、自分を大切に、周りの人を大切に、私たちの出合いがいかに奇跡であるか、という内容を掲載して発行いたしました。いじめは、これに反し、自分を貶め、周りの人を傷つけ、

奇跡をないがしろにする行為です。絶対にあつてはなりません。

さて、今をときめく有名芸能人の中にも、かつていじめを受けていた方が、少なからずいるようです。現在NHK大河ドラマ「鎌倉殿の十三人」で主演を張る小栗旬さん、本市出身でアイドルグループのセンターを務め、バラエティからドラマまで幅広く活躍している生駒里奈さんもそうした中の一人だと公言しています。彼、彼女をいじめていた人は、その活躍ぶりをどんな気持ちで見ているのでしょうか。惨めな気持ち、後悔でいっぱいなのではないでしょうか？せつなく奇跡の出会いをしていたのに……。

保護者の皆様も、いじめについてはたいへん心配なさっていることと思います。それは、おそらく「我が子がいじめられないように」という心配ではないでしょうか。親として我が子がいじめられることとはもちろん悲しいことで

すが、もし逆に我が子がいじめの加害者になったらどうでしょう。実はいじめられる以上に悲しいことです。想像しただけで、心が苦しく、恐ろしくなりま。我が子にかけるべき言葉は、「いじめられないように気をつける」(どうすれば?)ではなく、「いじめめるな」だと、私は思います。

私が我が子に(孫にも)願っていることは、たった一つ「喜ばせてくれなくてもいいから、絶対に悲しませないでくれ」これだけです。

いざ地区陸上大会

明日(二十六日)は、本由利中学校陸上競技大会です。本校からは、精鋭二十九名の選手が出場します。それぞれ自己ベストが出ることを期待しています。大会を支えてくれる四名の補助員も頑張ってください。健闘を祈ります！

※結果は、後日後援会報で